

うんよう ていせきしゅう SRS カード運用-定石集

1 目的

- 中国語の誤りを、そのまま放置せず、反復対象へ変換する。
- 記録の単位を小さく固定し、復習の負荷を管理する。
- 診断、日中翻訳、誤り訂正で出た弱点を、次回の演習へ接続する。

2 種別の対応

種別	表	裏	主問題タグ
声調カード	漢字または単語	ピンイン + 声調 + 意味	TON
文法カード	日本語文	中国語訳 + 使用項目	GRM
日中漢字カード	日本語漢字 + 意味	中国語での意味差	CHR
量詞カード	名詞または場面	適切な量詞 + 理由	MEA
搭配カード	日本語表現	自然な中国語 + 不自然案の否定理由	COL
語体カード	内容 + 場面	口語と書面語の2表現	REG

3 作成の手順

- 演習または診断の直後に、主問題タグを1個だけ決定する。
- 誤った箇所を丸ごと書き写すのではなく、次回も再現しそうな最小単位へ圧縮する。
- 表には一つの設問だけを置き、裏には正答と理由を短く記録する。
- 同じ弱点が3回続いたら、具体例カードではなく原則カードへ抽象化する。
- 次回の演習前に、直近で失点したタグのカードだけを優先して確認する。

4 復習間隔の基準

Display

初回

翌日

3日後

7日後

14日後

30日後

- TON と CHR は、初回から7日後までを短周期で反復する。

- GRM と MEA は、正答率が安定するまで 14 日後へ拡張しない。
- COL と REG は、場面差を伴うため、類例を 2 枚以上並行して確認する。

5 作成例

5.1 TON

Display

おもて
表: [螽・ni ĩ.ng]

うら
裏: [螽・ni ĩ.ng] = 母

ちゅうい
注意: [螽・m ĩ司] と混同しない

5.2 MEA

Display

おもて ほん かぞ
表: 本を数える

うら
裏: 苳 [譜彡/bト嬾]

りゅう きつしたい つか
理由: 冊子体には 譜彡を使う

5.3 REG

Display

おもて けっか ゆうぼう
表: 結果は有望だ

うら こうご
裏: 口語 邱緘上↑緘・

うら しよめんご
裏: 書面語 邨碁・譚・緘ゆ k

6 避けるべき作り方

- 長文をそのまま 1 枚へ入れる。
- 主問題タグを複数併記して、何を直すカードか不明にする。
- 答えだけを記録し、誤った理由を残さない。
- 復習の間隔を気分に変え、反復の密度を失う。

7 かんれん 関連リンク

→ 講義 **中国語学習の運用設計** lecture chinese overview
<https://study.bem130.com/lecture/chinese/overview/中国語学習の運用設計-講義/>

→ 定石集 **中国語誤りタグ体系** reference chinese error-taxonomy
<https://study.bem130.com/reference/chinese/error-taxonomy/中国語誤りタグ体系-定石集/>

→ 問題演習 **診断ミニテスト** exercise chinese translation
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/translation/診断ミニテスト-問題演習/>

→ 問題演習 **タイムド日中翻訳基礎** exercise chinese translation
<https://study.bem130.com/exercise/chinese/translation/タイムド日中翻訳基礎-問題演習/>